

介護&子育て 孫育て&介護 介護&介護 親、こども、親戚、孫、夫…

ダブルケアシンポジウム みんな！どうしてる？

ダブルケアしながら働くことが当たり前前の社会へ

神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会

横浜国立大学経済学部附属

アジア経済社会研究センター

共催

入場無料

当日参加 OK

先着 120 名

開催日 平成 29 年 2 月 18 日 (土) 13:30~16:30

会場 横浜市技能文化会館 多目的ホール 2

【開催趣旨】 自分の子どもの子育てと親の介護だけでなく、複数のケアを同時に行うダブルケア当事者の実態の報告とともに、ダブルケア当事者を支えるための支援の在り方や、ダブルケアしながら働き続けられるためにどのような働き方が求められているか考えていきます。

《プログラム》

ダブルケア実態調査報告

■相馬直子准教授 (横浜国立大学)

■井上浩子専務理事

(神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会)

ダブルケアカフェ実施報告

■ダブルケアカフェ参加者の声

ダブルケア当事者 過去経験者

生活支援コーディネーター 保健師 等

パネルディスカッション

～参加者全員で考えよう～

■ケアラー支援

■働くメンバーの支援

■働き方の提言

■アクセス

・JR 根岸線

関内駅南口から徒歩 5 分

・横浜市営地下鉄ブルーライン

伊勢佐木長者町駅出口 2 から徒歩 3 分

横浜市中区万代町 2 丁目 4 番地 7



後援：男女共同参画センター横浜南

一般社団法人ダブルケアサポート横浜

ダブルケア実態調査の取り組み

神奈川 W.Co 連合会 横浜国立大学 共同研究

ダブルケア実態調査

超少子高齢社会と晩婚化が同時に進む日本社会では、育児と介護が同時に直面するダブルケアの問題が顕在化しています。横浜国立大学の相馬直子准教授と英国ブリストル大学の山下順子講師により、2012 年からダブルケアの調査研究が進められてきました。調査研究の第6弾として、神奈川 W.Co 連合会では、2015 年 12 月～2016 年 2 月にかけて、所属する W.Co メンバーとその福祉サービスの利用者を対象にダブルケアの実態調査を行い、様々な実態と課題が浮上しました。

ダブルケアカフェ開催

少子高齢化による家族の中でのケアラーの減少、共働き世帯の増加、隣人関係の希薄化、介護離職問題、縦割りの支援制度等、ケアラーにとって生きにくい状況の中で、今後 W.Co が目指すべき活動の方向性や方針に繋げるために、ダブルケアに関わる方が気軽に集まり情報交換ができる場を目指し、県下 19 ヲ所でダブルケアカフェを実施しました。当事者、ケアラー支援者の声をもとに、必要な支援は何か、今後の取り組みを報告します。



ダブルケア当事者の声

いろいろな方のケア体験を伺って、自分だけではないと改めて、母の介護に向き合える気持ちになりました。話をすることで、すっきりすることができますよね。



ケアラー支援者（行政）の声

介護はある日突然始まるので、誰に何を相談できるのか、必要になった人に情報と支援が届くように何とかしなければと思う。



ダブルケア経験者の声

当時はわからなかったけど、話を聞く中で自分もダブルケアの当事者だったんだと気づいた。あの頃に誰かに相談できたらよかった。



働くメンバーの声

ダブルケア直面中は事務の仕事など自宅でするようにして、休んだり減したりして続けてこられた。逆に仕事があることで、気分転換、孤立していない感があり、とても有難かった!

事前のお申し込みは お電話か FAX にてお願いします。

氏名 _____

所属 _____

連絡先 _____

神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会

TEL : 045-662-4303

FAX : 045-662-4306

担当 : 山田